

令和6年度

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	どんぐりひろば				公表日	令和7年2月1日	
この度は、アンケートのご協力ありがとうございました。 皆様からのご意見を参考により良い事業所にしていきたく思います。							
				利用児童数	25名	令和7年1月15日現在	回収数 18 回答率 72%
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			遊具などもあり、部屋数もあると思います。	興味のある玩具や希望されるものがありましたらご相談ください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16		2		現在、保育士、理学療法士、児童指導員を配置しより専門的な支援を実践していきたいと思っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16		2		視覚的な表示や、個人に合わせたスケジュールボードを準備し対応させていただいています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				室内ゲームや自由に遊ぶ空間、一人で過ごしたい空間など提供しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17		1	落ち着くように工夫して支援していただいています。	バーテーションで居室空間を工夫したり個室もある中で状況に応じて落ち着いて過ごせる環境を作っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16		2		保護者の方に支援プログラムを周知していただけるよう準備します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				面談の中で保護者の思いを伺いながら計画作成を行い支援に活かしています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17		1		保護者の方が希望とされている内容とご本人の思いなどを計画に策定しながら発達支援に繋げていくことができるよう取り組みんでいます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17		1		計画に沿った支援に努めておりますがご利用の頻度によってはすぐに結果や成果が出るのではなく見えにくい成長発達となっていればと願っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15		2	課題をやったり子どもリーダーをやったり工夫されています。	個別課題（どんぐりトライ）では児童に合わせたプログラムを日替わりで準備し、また、興味のあるものから意欲につなげられる工夫をしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	1	3	利用回数が少ないのでわかりかねます。	地域の公園に遊びに行くことで他校の児童との交流が図れるようにしたり、また、法人内の放課後児童クラブ（わんぱく）の児童と活動を通して交流ができる工夫をしています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				契約時に説明させていただき、変更時にはその都度、書類配布と共に説明をおこないご了解をさせていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				定期的にお時間を取っていただき支援の内容等の説明をさせていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		5	利用回数が少ないのでわかりかねます。	家族支援プログラムの実践はできていませんが、ご希望に添える研修や情報提供をしていきたいと思っておりますのでご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17		1		面談の機会にご家庭の様子を伺ったり併用されている事業所での様子などをお聞きしながら支援に活かすように努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		2	いつも相談させてもらっています。利用回数が少ないのでわかりかねます。	いつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				ご利用中に様子などをお伝えしながらお子さまの成長発達に向けた支援を実践しております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1	6	どんぐりカフェも定期的に開かれています。利用回数が少ないのでわかりかねます。	3月には久しぶりにどんぐりカフェを開催し沢山のご家族の方に参加いただきました。また交流の機会を設けていきたいと思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17		1		微力ではありますが、どのような些細なことでもご相談ください。また、色々な情報等知りたい場合も協力いたします。お気軽にご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				緊急時の連絡先をお伺いしたり場合によってはメールにて情報伝達を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18			どんぐりだよりをいつも楽しみにしています。	長期休みの活動はダイジェスト版を作成し様子などの共有に努めております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				契約の時や書類作成の際には説明しご理解頂いていると解釈しています。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			3	利用回数が少ないのでわかりかねます。	事業所内に各マニュアルを策定し、定期的に職員研修や児童を交えて研修を行っています。保護者の方にも周知していただけるよう改善に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			4	避難訓練や防災の学習もさせてもらっています。利用回数が少ないのでわかりかねます。	定期的な訓練を行いおたよりを通してお知らせしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			4	利用回数が少ないのでわかりかねます。	安全計画を策定しております。再度周知を徹底して行きます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			3	利用回数が少ないのでわかりかねます。	万が一、事故等発生した場合は第一連絡先にお電話することになっております。変更等あればお知らせください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17			1		今後も保護者の方や学校との連携を大切にながら安心して利用していただけるよう取り組んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17			1	今は落ち着きがないですが行ってきただ日は、満足そうです。	期待感を持って利用できるような活動を準備していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				いつもお世話になり、とても助かっています。	お子さまの成長と共に喜びながら充実した支援が行えるよう研鑽してまいります。

その他ご意見

- ※楽しく通わせていただけることを感謝しています。
- ※年に数回しか利用がありませんが、職員のみなさんに良くしてもらって楽しく帰ってきます。
- ※今、とても落ち着きのない状態でご迷惑をおかけしています。家ではどんぐりだよりを毎日見て大切に持っています。早く落ち着いてきたいいなと思います。
- ※長期休暇時に預かっていただき、とても助かっています
そして色々な経験をさせていただき成長を感じます。
- ※毎週木曜日を楽しみに通っています。とても有難いです。
- ※いつもお世話になっておりたくさんの経験をさせていただき感謝しております。
3学期もよろしく願います。
- ※子どもは毎週楽しみにしています。
- ※色々な所へ連れて行っていただき季節に応じた楽しい体験をさせていただきありがとうございます。
- ※いつも丁寧なみていただき、ありがとうございます。どんぐりさんに行くことで、友達との関わりが増えたり公共施設での過ごし方を知ったり、多くのことを学ばせていただいています。
今後ともどうぞよろしく願います。
- ※1～2回しか利用していないのでわからないが多いです。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスどんぐりひろば		公表日	2025年2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		まなびの部屋、あそびの部屋、活動のエリア、休養室とご利用児童の思いや用途に分け、使用している。	各児童が過ごしたい環境で活動ができるために職員の対応や配置等職員間で留意しながら安全な支援を継続する意識を持つ。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		保育士、児童指導員、理学療法士を常勤4名配置（1月時点）	専門職員による専門性を生かした支援を実践していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		事業所が2階ということで昇降には十分に留意し安全な対応を心掛けている。利用児童にトイレや場所の表示を行っている。	建築構造上、階段の昇降が身体に負担がかかる児童の支援をどのように行うか。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		整理整頓に心がけた環境を行っている。	生活空間の中での職員の配置を職員間で周知しながら児童の様子を周知できるようにする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		児童の様子を見ながら配慮を必要と感じた場面では個別の空間を提供するようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		半年に一度、法人が定めているDOCAP（Do Check Action Plan）評価を実施し、日々研鑽に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度保護者アンケートを実施し、保護者の意向を把握し、支援の見直しに活用している。	回答の内容を周知していき改善に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		DOCAPの面談の時に現状と課題を共有し法人、事業所、個人としての視点を重視した振り返りができるように取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在は事業所内にて評価を行い日々改善に努めている。	法人本部との協議を行い必要であれば実施する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内3放デイ事業所と合同の研修を開催したり外部研修を受講する機会を設け研鑽に努めている。	職員全体が専門性のある療育実践の経験値が浅くさらに研鑽を深める必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	作成はしている。公表はしていない。	令和7年2月には公表の予定をする。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		面談や利用時の連絡により保護者のニーズを把握しケース会議の中で共有したことを個別支援計画や日々の支援活動に活用している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		面談に直接支援員も参加できるように努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		ケース会議、職員会議の中で利用児童の様子を共有しながら計画に沿った支援に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		保護者からの情報の中の発達検査や、Ncプログラムを用いてアセスメントを行う場合もある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		5領域の項目について職員間で共有し保護者や児童の意向を入れた支援内容の作成に取り組んでいる。	利用児童が実践しやすく充実感、達成感のある支援を5領域に沿って取り組める創意工夫を行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員会議やケース会議の中で共有するように努めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		5領域の項目を着目しながら利用児童の発達支援を実践できるように取り組んでいる。季節の合わせた行事、戸外活動のプログラムもやっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		5領域の項目を着目しながら利用児童の発達支援を実践できるように取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援開始前にミーティングを行い、前日からの振り返りを含めて、職員全体で利用児童の日々の状況や課題を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		送迎終了後、勤務時間外に振り返りを行うことはあるが、概ね翌日に支援の振り返りを踏まえたミーティングを行っている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容、利用児童の様子などを記録し、職員間で共有している。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとに計画の見直しを実施している。また、時期にかかわらず必要に応じて保護者と面談を行い計画を変更することもある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		個別支援計画をもとに「4つの基本活動」を組み合わせたプログラムを行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別の課題や、活動の中で自分で選ぶ、決める経験が積み重ねて行ける支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	併用利用先の事業所と情報共有する機会を設けている。	保護者の要望や必要と思われるケースには積極的に会議を行うように働きかける。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		移行の際に療育機関や、保育所等と連携しながら	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の行事等把握した上で適切に支援を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の様子を見に伺ったり利用時の様子をおたよりなどを通して共有する中で発達の即した支援が行えるようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	お問い合わせがあった場合や保護者の方の希望があった場合は情報提供を行うようにしている。	卒業後の進路等を検討する際に必要とされる事業所との連携をしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	保護者の方から等保育所等訪問の報告書を共有させていただきながら支援の参考にさせていただいている。	保護者の方の希望に応じて連携や助言をいただく機会を図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内にある放課後児童クラブと一緒に活動する機会を設けたり地域の公園に出かけ一緒に過ごすことができるようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	市内に自立支援協議会の児童を対象とした部会がないと認識しており、市内の放課後等「サピエ」の連絡会を通して情報共有をしている。	自立支援協議会を必要とするケースについては市、子ども応援課に協力を仰ぎながら進めていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の支援の内容や様子等、口頭で伝えるほかに毎月のおたよりの中でも個別に様子を書いて渡している。また希望される保護者と連絡ノートで様子を教諭するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレント・トレーニングの実施はできていないが個別支援計画についての話の中で家庭での様子を伺いアドバイスができるように心がけている。	家族支援プログラムについての研修に参加し支援の充実、実践に活かす。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に詳細を説明している。長期休暇前には活動の内容や利用者負担等について書面にて説明し、同意をもらうようにしている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方からサービスの内容等ご意向を確認し支援に反映できるように努めている。	成長の中で児童の思いも引き出しながら発達につなげていく支援を行っている。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者との面談の中で要望を把握し児童発達支援管理責任者のもとに職員全体で五領域に沿った支援を実践する計画を立て説明同意をもらっている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や電話などで相談に対応できるように努めている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		就労されている保護者も多いなかでコンスタントな開催は難しいが「どんぐりカフェ」と称し交流できる機会を設けている。	
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者の方からの苦情があった場合、内容詳細等整理し法人法部に報告するとともに信頼回復に向けた対応に心がけている。	活動の内容や予定の変更等ごまめに絶命、同意をいただくように説明を行う。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		どんぐりだよりを定期発行し利用時の様子を伝えるようにしている。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		事前に個人情報の取扱いについて保護者に説明同意を得たうえでお便りなどの掲載を行っている。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		事前にどのような伝達方法がよいか、保護者の方と伺いながら、また支援の中で児童の様子や特性を把握しながら配慮するようにしている。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行事等は事業所内で完結しているが法人内の同地域にて運営している小規模多機能事業所に向いて交流する機会を設けている。	まずは、同法人の事業所との交流をさらに深めていく。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者の方には緊急時の連絡体制についての説明や了承を得ることに努めている。また、職員には入職時や研修の中で各マニュアルを周知してもらっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的（年に4回）に火災、地震等に備えた避難訓練を実施している。また、避難袋のチェックも行っている。	大規模な災害を想定した訓練をイメージすることは難しい中で定期的な訓練を継続し備えていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		定期的な受診について保護者から何い服薬や発作時の対応方法などの把握に努めている。	定期的な受診をされている場合は診察に同行し情報共有に努める。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約の時の面談の際保護者の方にアレルギーの有無を確認している。	面談の中でアレルギーの有無がわかったら医師の指示書を依頼する。また、詳細について保護者から伺う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、年間の計画の中で研修、訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難場所や年間の安全計画書を配布し、また訓練の報告をおたよりを通して行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間でどのような場面や事柄でリスクとして捉えるかを共有しヒヤリハット報告書を作成し、法人本部へ報告している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待や身体拘束について研修（年に4回）を行い意識づけを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		定期的に虐待や身体拘束について研修（年に4回）を行い意識づけを行っている。また、現在は保護者の希望と同意の下で戸外活動などにおいて安全を第一に考えた対応を考慮している。その際は計画書に記載している。	成長の中で安全を確保できるかの見極めを行っていく。	

令和7年度

安全計画

放課後等デイサービス どんぐりひろば

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難 訓練等		防災訓練(垂直式救助 袋点検作業)	虐待研修(身体拘束) 感染症研修	防災訓練(火災・地震・ 防災センターでの体験 のいずれかを想定)		
その他 ※1						
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難 訓練等	感染症研修	虐待研修(身体拘束)	防災訓練(火災・地震・ 防災センターでの体験 のいずれかを想定)			防災訓練(火災・ 地震・防災セン ターでの体験の いずれかを想 定)
その他 ※1						

◎避難訓練で災害に対する理解を深め、速やかに避難行動できるようにする。

※1 交通ルールが理解できるように配慮しながら散歩等へでかける。

事業所名	どんぐりひろば				支援プログラム		作成日	2024年	9月	1日
法人（事業所）理念	一人ひとりにあった支援で「やってみたい」を「できる」に！ 一緒に楽しみを見つけます。									
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 心の安定を図り、コミュニケーション能力、対人関係の向上を図ります。 身辺整理、家事活動などを通じて、整理整頓や清潔に保つことへの意識を育て、身辺自立の向上を目指します。 子どもの個性や発達段階に合わせた個別支援計画を立て、課題に取り組みます。 家庭、関係機関と連携を取りながらを将来を見据えた支援を行います。 									
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし			
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい児童には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行います。 生活に必要な基本的な生活スキルの獲得ができるよう支援します。 様々な遊びや活動を通して生活環境を整え、また、特性等に配慮し、時間や空間をわかりやすく構造化した支援をします。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ボディイメージ、サーキット活動の中でバランス感覚や姿勢保持を促す支援をします。 支援プログラムにダンスやミュージックケアを取り入れることでリズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援します。 体操やストレッチを取り入れ全身運動を行います。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認により時間の認知確認ができる支援をします。 小集団の活動や、ゲームをする中で適切な行動やルールを理解を深めて行ける支援をします。 天気、気温、日付の把握確認、季節の変化への興味などの感性を育てる外出や戸外活動を行います。 学習の習得状況を踏まえながら、一人にひとり合った個別課題を提供し形、色、音の変化、空間、時間等の概念の形成を図ることにより認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等個々の特性に配慮し、こだわりや偏食等の対する支援を行います。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード・PECS、ジェスチャー、サインなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図ります。 小集団の活動の中や個別での対応の中で自分の気持ちを表出したり相手の話を受け止めるような機会を作ります。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援をします。 個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。 感覚機能や運動機能を働かせる遊びや活動から、見立てあそびやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援します。 遊び等を通して人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援します。 自分の行動の特徴を理解するとともに気持ちの情動や調整ができるよう支援します。・手順やルールの理解が必要な集団活動に参加できるよう支援します。 								
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や面談の機会にご家庭での様子を伺い、自立に向けた支援に活かせるようイメージを共有し支援にあたっています。 ご家族の就労支援やレスパイトとSでの利用の中で安心して子育てができる環境づくり、また保護者同士の交流ができる機会を作ります。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関との連携を図りスムーズな移行ができるよう支援しています。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民や関係機関などと共有を図りながら社会参加する機会を作ります。 戸外活動の中で公共施設を利用し交流する機会を作ります。 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援に必要な専門研修を受講し研鑽に努めています。 法定研修(虐待防止・身体拘束・感染症)、防災・安全に関する研修を実施し質の向上に努めています。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日会 季節の行事 どんぐりカフェ（保護者交流） 法人内放デイとの交流 戸外活動 避難訓練 買い物体験 乗り物体験 敬老の日訪問 									